

ようこそ

YOKOSO



3

2023 MAR VOL. 98

無料

毎月1回30日発行
2023年3月3日発行
第9巻第3号 北インド版

今月の特集

インド発、新鮮でおもしろい情報をお届け 3



メールでのお問い合わせは
こちらをスキャン

#happyholi

HAPPY *Holi*

一つの窓口から全ての希望を
モビリティのフォーミュラグループ



リロケーション
サービス



ビザ登録サービス



リロケーション
サービス



ドライバー付き
レンタカー



コーポレート
ハウジング

www.formulaindia.co.jp

FORMULA
GROUP
Mobility Managed.®



山田幸彦

✉ japandesk@krayman.com



菅原久子

✉ hisako.sugawara@krayman.com



マナン・アガルワル
(Manan Agarwal)

✉ manan.agarwal@krayman.com

持続可能なインド繊維産業へのロード・マップ。

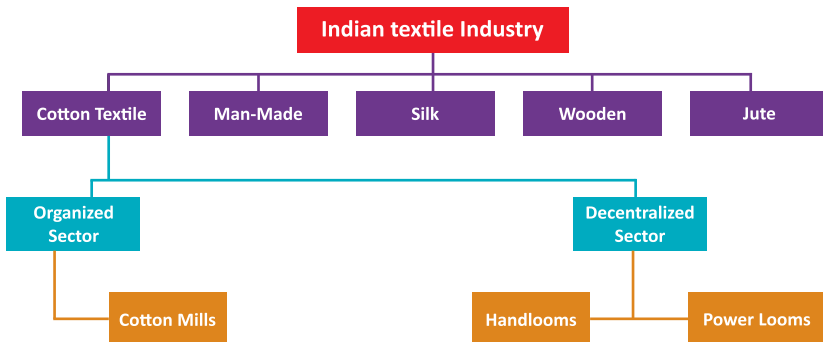
インドの繊維・アパレル産業-概要。

インドの繊維・アパレル産業は、綿、ジュート、シルク、ウールなどの膨大な原材料を基に、数世紀前から続く世界最大、かつ、最古の産業の1つです。インドの繊維産業は、手織り部門と資本集約的な工場部門があり、非常に多様性に富んでいます。

手織機、手工芸品、小規模な力織機などの伝統的な部門は、農村部や半都市部に住む何百万人もの人々の最大の雇用源となっています。多くの女性や農村部の人々を含む何百万人もの人々に直接・間接の雇用と生計の基盤を提供しています。

インドは、世界第6位の繊維・アパレル輸出国です。インドの繊維・アパレル産業は、経済の極めて重要な支柱の1です。インドの総輸出額に占める手工芸品を含む繊維・アパレル製品の割合は、2020-21年には11.4%となりました。インドは、世界の繊維・アパレル貿易の4%のシェアを占めています。

さらに、繊維・アパレル業界は、そのビジョンと事業において、インド国内での製造、スキル・インディア、女性の地位向上、地方の若者の雇用といった政府の主要なイニシアティブに完全に合致しています。



持続可能性の必要性

繊維・アパレル業界におけるサステナビリティは、単にオーガニック素材や効率的なプロセスを使用するだけの事を意味するのではなく、非常に重要なものとなっています。この点に関して強調された主な懸念事項には、次のようなものがあります。

- 水とエネルギーの大量消費。
- 生産工程における染料、合成繊維のブレンド、素材の取り扱いにおける補助剤など、有害な化学物質の使用。
- テキスタイルの取り扱いには、非常に大きな課題があります。大量な、生態系に影響を及ぼしかねない、生分解性のない化合物を使用します。
- 繊維産業は有害な排水を大量に排出するため、プラスチック製のマイクロ・ファイバーが大量に海へ流れ込んでしまうこともあります。
- 2050年までに、繊維・アパレル産業は世界の炭素消費量の25%を占めると予想されています。

繊維産業は諸刃の刃のようなもので、環境への副作用を減らすために、高度な監視と適切なガイドラインへの適応を必要とします。そのため、環境に負担をかけない新しい製造方法を採用し、天然資源を活用することで、繊維産業だけでなく環境全体を維持することが急務となっているのです。

サステナビリティを実現するために採用すべき施策の一例。

持続可能な社会を実現するため、産業界は次のような取り組みを行っていく必要があります。

- **すべてのテキスタイルと衣料品として環境にやさしい素材を使用する事。**

繊維・アパレルメーカーは、リネン、ワール、コットン、ヘンプ、テンセル・リヨセル、エコニールなど、環境に優しい素材を生産工程で使用することが推奨されています。

- **綿花の再生有機農法の採用**

繊維業界では、コットンは重要な原材料として認識されています。そのため、再生可能な有機農法を採用し、農場から生地まで持続可能な生態系を作り出すことに注力し、持続可能な綿花のポートフォリオを拡大することを目指しています。

- **包装用プラスチックのリサイクル。**

バージン・ポリエステルをリサイクル低密度ポリエチレン (LDPE) に置き換えた、包装用プラスチック・リサイクルが導入されています。また、繊維産業では、工場から出るゴミをリサイクルすることで繊維くずを活用、プラスチック使用量の削減を図っています。

- **廃棄物を加工し、環境にやさしい繊維をつくる事。**

また、繊維業界では、廃棄物を繊維に加工することで、環境にやさしい繊維を作る可能性を探っています。この方法では、必要な資源のロスを減らすことができます。廃棄されたポリエチレン・テレフタレート (PET) ボトルをフレーク状に、数デニール (単位) の糸に細かく加工し、糸に紡ぐことで、焼却や埋め立て、海洋放出されていたPETボトルの廃棄物を活用することができます。このリサイクル・ポリエステル100%繊維は、性能面ではバージン・ポリエステル繊維と非常によく似ています。

- **グリーン・コンシューマーの推進。**

消費者に、リネン、コットン、手織り機、手編み機など環境にやさしい繊維製品を使用するよう啓蒙、環境破壊を減らすだけでなく、地方の分散型手織り産業にも収益をもたらす事。

- **循環型経済ベースのアプローチ採用。**

繊維・アパレルにおける循環型経済ベースのアプローチは、顧客にとってより良い製品とサービスを作り出し、弾力的で豊かな産業に貢献し、環境を若返らせるものです。また、繊維・アパレル産業に関わるすべての人の権利と公平性を優先し、包括的な成長のための新たな機会を創出します。

繊維・アパレル産業強化のための政府の取り組み・スキーム。

インド政府は、繊維・アパレル産業の成長と持続可能性を高めるため、多くの取り組みや計画を実施しています。主な取り組みには、以下のようなものがあります。

取り組み名/スキーム名。	主な対象物。	イニシアティブ・スキームの下での主な開発。
メガ繊維地域&アパレルパーク (MITRAS) 計画。	<p>繊維産業の強化を目指して、2021年10月に発足。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事業規模の拡大が可能。 • バリューチェーン全体を一カ所に集めることで、物流コストを削減。 • 投資を誘致。 • 雇用の創出と輸出の可能性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> • この計画では、繊維産業のトータル・リユース・チェーンに対応した大規模、かつ近、代的総合産業インフラ施設を開発します。 • これらのメガ・テキスタイル・パークは、繊維産業が栄えるための本来の強みを備え、成功するために必要なリンクがある場所に設置されることが想定されています。 • 政府は、2021-22年度から2027-28年度にかけて、444.5億ルピーの予算で、グリーン・フィールドやブラウン・フィールドに7つのMITRAパークを設立する予定。



<p>プロジェクトSU.RE.-サステナブル・レゾリューション。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2019年に開始、インド・アパレル業界がファッション業界の持続可能な道筋を確立するためのコミットメント。 本プロジェクトは、アパレル・セクターが持続可能な開発目標 (SDGs) と環境・社会・企業統治の長期目標を達成することを支援。 	<p>サステナブル・レゾリューションは、主に以下のような影響を与えて来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続的、包括的、かつ、持続可能な経済成長、完全、かつ、生産的な雇用とすべての人のための働きがいのある仕事を促進。 -強靱なインフラ構築、包括的で持続可能な産業化の推進、イノベーションの促進。 持続可能な消費と生産パターンの確保。
<p>東北地方における地場繊維産業の利用促進スキーム。</p>	<p>2014年に開始されたこの制度の基本的な目的。</p> <ul style="list-style-type: none"> インド北東部の脆弱な地質条件の下でのインフラ整備において、ジュート・ジオ・テキスタイルを含むジオ・テクニカル・テキスタイルを近代的、かつ、持続可能な費用対効果の高い技術として使用できることを実証する事。 道路や盛土の耐久性を向上させる。 	<p>このスキームでは、環境に優しいジュート・ジオテキスタイルを使用した道路建設と斜面安定化プロジェクトが既に8件完了。</p>
<p>生産運動インセンティブ (PLI) スキーム。</p>	<p>2021-22年度インド連邦予算で1068.3億ルピーの予算で導入され、その主な目的は、人造繊維 (MMF) アパレル & ファブリック & 技術繊維製品生産で、繊維産業の規模拡大と国際競争力を実現させる事。</p>	<p>Ginni Filaments社, Kimberly Clark India Private Limited社, Arvind Limited社, Avgol India Private Limited社, Goa Glass Fibre Limited社, H P Cotton Textile Mills社, Madura Industrial Textiles社, Shahi Exports社, Trident Limited社, Donear Industries & Gokaldas Exports社など64社が、インドにおける繊維製品製造においてPLI制度による大きな恩恵を受けている企業です</p>

今後の見通し

近年、工業化進展や技術革新による環境破壊から、アパレル・テキスタイル業界を含む、あらゆる主要セクターにおいて、サステナビリティが不可欠なものとなっています。

今日の消費者は、食品や衣料品など日常的な選択の場合において、より教養と意識を持つようになり、それに応じて、リネン、カーディ(ブランド)、手織り綿サリーなどのハンドメイド・手織り布を好むなど、エコロジーと社会的に受け入れられる製品を期待、多くの人にとって当然の選択をする様になっています。このことは、メーカーが製造や生産パターンに革新的で持続可能な手段を採用し、持続可能な開発を推進する動機付けとなっています。

したがって、今後、繊維・アパレル業界のすべての主要なプレーヤーは、企業の収益性、持続可能性、環境リスクがすべて直接関係しており、生産成長と収益向上という長期的な目標を達成するためには、天然資源と環境全般を賢く利用する必要性を損なわないよう理解する必要があります。

注

この記事には、一般的な性質の情報が含まれています。この情報は一般的なガイダンスに過ぎず、いかなる意味においても専門家のアドバイスの代用となるものではありません。読まれた方が弊社側からの具体的な助言を必要とする場合は、別途お問い合わせ下さい。

クレイマンに關しまして

クレイマン・コンサルタンツLLP (以下、クレイマン) は、インド全土の日系顧客様にサービスを提供する会計・アドバイザリー会社です。当社は、インド進出、会計・監査、税務、規制、法務サービスを専門としています。当社は、公認会計士、会社秘書 (カンパニー・セクレタリー)、弁護士、MBAからなる専門家チームです。詳細については、当社ウェブサイト (www.krayman.com/jp) をご覧ください。サポートが必要な場合は、communications@krayman.com 迄ご連絡下さい。

